

---

---

# 日本経済展望

2016年9月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

---

---

## 目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆見通し	
経済	p. 7
物価、金融政策、金利	p. 8
◆内外市場データ	p. 9

### 調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

●総括	下田 裕介	( Tel: 03-6833-0914	Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp )
●家計部門、雇用賃金	小方 尚子	( Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp )
●ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	( Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp )
●企業部門、外需	菊地 秀朗	( Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp )
●ファンダメンタルズ（現状分析）	伊藤 綾香	( Tel: 03-6833-6967	Mail: ito.tp24777@jri.co.jp )

◆本資料は2016年9月1日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

# 概況：足踏みが続くなか、一部で持ち直しの動きも

## 景気

一致指数は一進一退が持続  
先行指数は、機械受注の増加を受け上昇

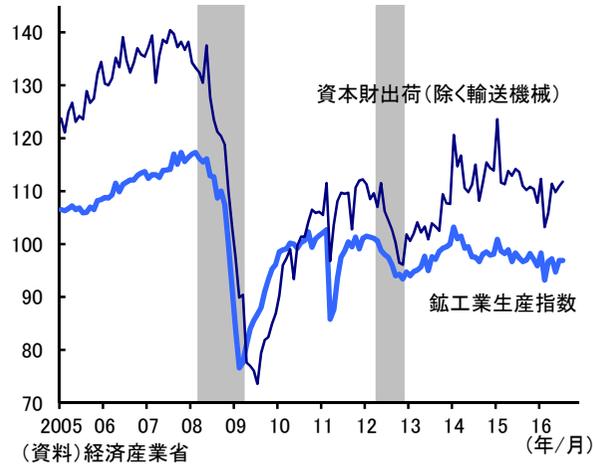
(2010年=100)



## 企業

出荷指数は2ヵ月連続で増加するも、生産活動は横ばい圏での推移

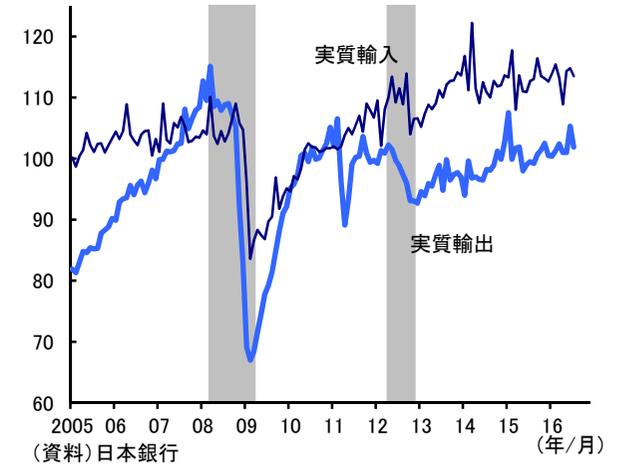
(2010年=100)



## 外需

輸出はアジア向けなどを中心に減少  
輸入は一進一退

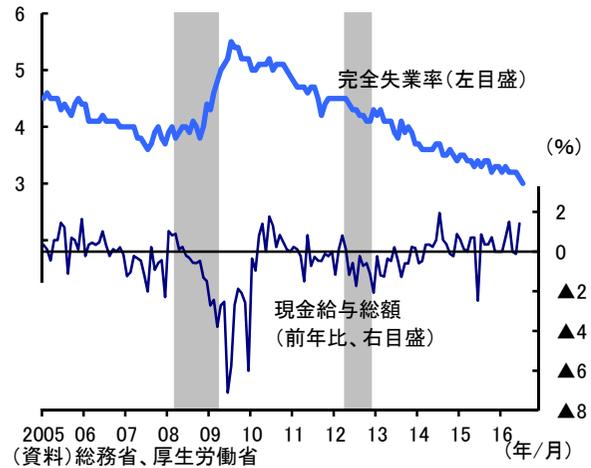
(2010年=100)



## 雇用所得

失業率は21年ぶりの低水準  
賃金は総じて緩やかな増加傾向

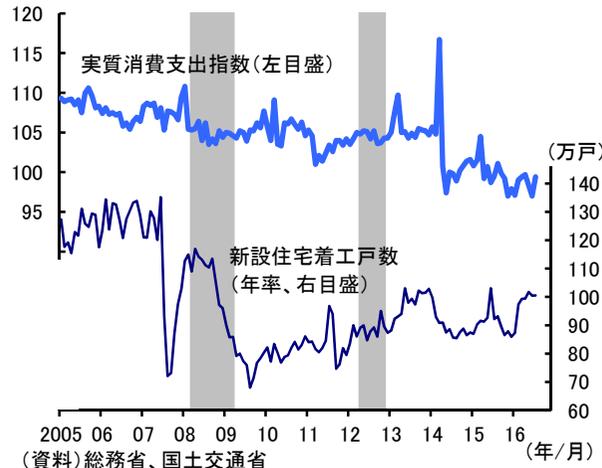
(%)



## 家計

消費は食料品や住居関連でやや持ち直し  
住宅着工は高水準を維持

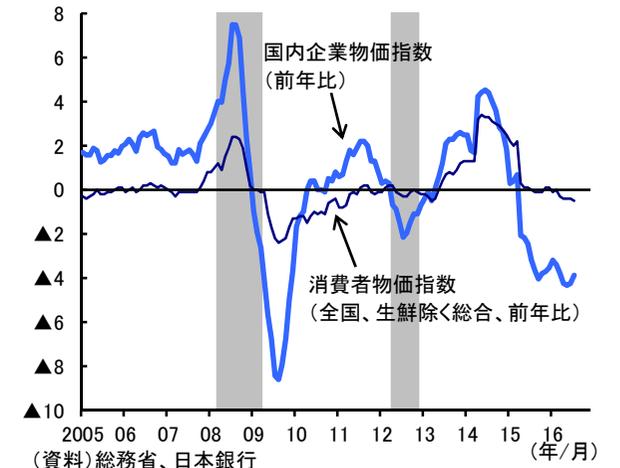
(2015年=100)



## 物価

原油安を主因に、国内企業物価、消費者物価ともに前年割れが持続

(%)



※シャドー一部は景気後退期

# 生産は一進一退も、家計部門では一部持ち直しの動き

## ◆景気は一部で持ち直しの動き

わが国景気は、やや持ち直し。4～6月期の実質GDP（1次速報値）は、前期比年率+0.2%と小幅ながら2四半期連続のプラス成長。前期のうるう年による日数増の反動を除くと成長率はわずかに加速。需要項目別にみると、円高により輸出や設備投資は減少したものの、2015年度補正予算の進捗などにより、公共投資をはじめとする官公需が増加したほか、住宅投資も大幅に上振れ、成長率を押し上げ。

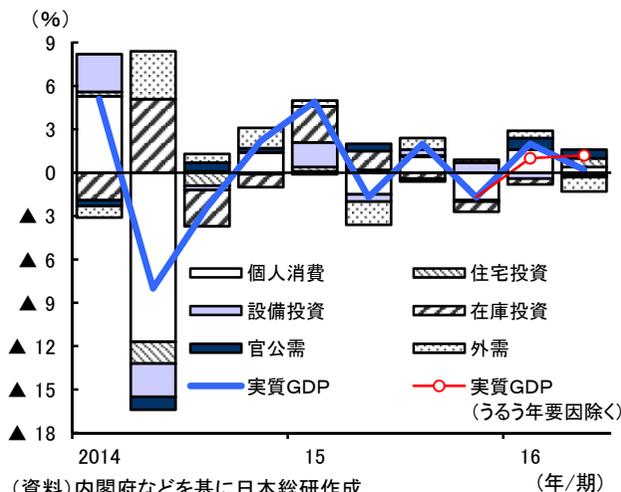
## ◆生産は、一進一退が持続

企業部門では、7月の実質輸出が2ヵ月ぶりに前月比減少。米国向けの自動車やアジア向けの鉄鋼などが減少し、外需の景気けん引力は、引き続き力強さを欠く状況。こうした状況を受けて、企業の在庫調整は道半ばにあり、生産も前月から横ばいと、引き続き一進一退の動き。

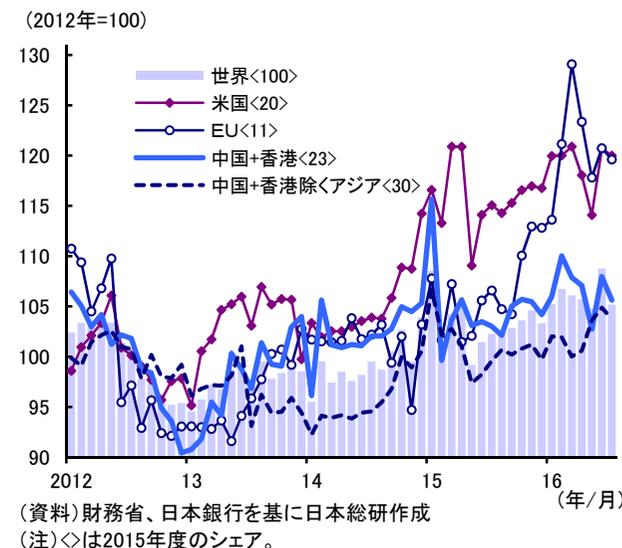
## ◆個人消費は回復の兆し

一方、家計部門では、消費者マインドの改善は限定的ながら、実質消費支出が3ヵ月連続で増加するなど、個人消費に回復の兆し。住宅着工戸数も、春以降の増勢に一服感はみられるものの、3ヵ月連続で年率100万戸を上回る高水準が持続。

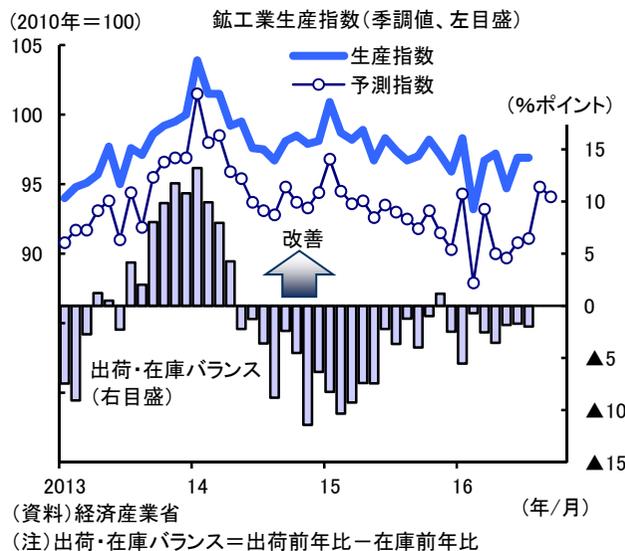
実質GDP成長率(前期比年率)



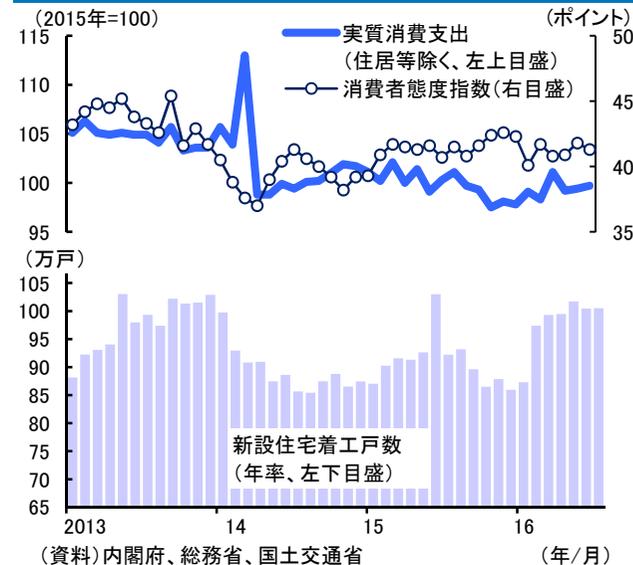
実質輸出(季調値)



鉱工業生産指数と出荷・在庫バランス



実質消費支出と住宅着工戸数(季調値)



# インバウンド需要に頭打ち感、外需環境には厳しさ

現状

景気分析

見通し

## ◆円高下、インバウンドの増勢は鈍化。需要は消費財やサービスにシフト

外需動向をみると、まず、インバウンド需要に頭打ち感。昨年後半以降、訪日客数は増勢が鈍化し、一人当たり消費額も減少。とりわけ、中国人1人当たり消費額の減少幅が大。

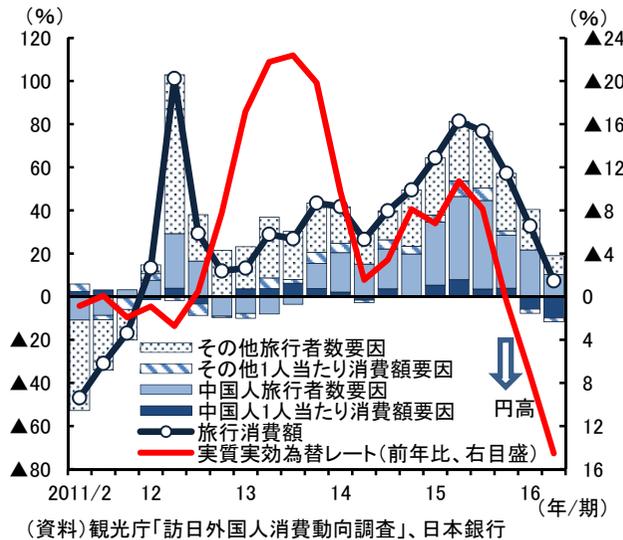
訪日中国人の購入費目をみると、円高などの影響もあり、家電や高級品で購入金額の減少、購入率の低下が大きい一方、消費財やサービスは堅調。昨年までのような急拡大局面は一服したものの、アジア新興国の所得拡大が今後も続くと思込まれるなか、消費行動の変化に対応し、幅広い需要を取り込むことができれば、インバウンド需要は引き続き外需の下支え役に。

## ◆世界貿易が伸び悩むなか、財輸出の持ち直しは緩慢

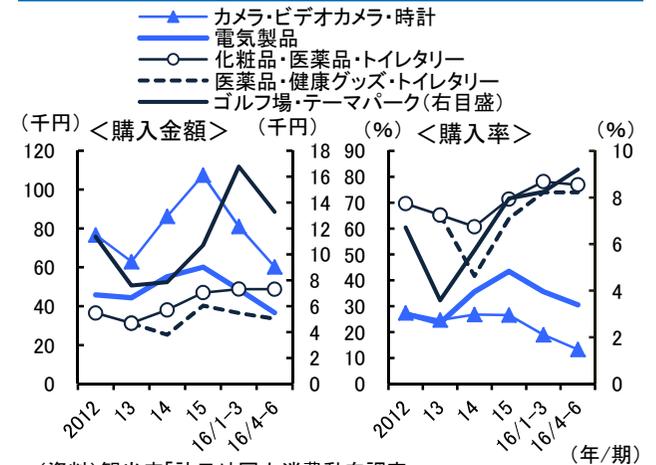
一方、財輸出では、既往のインバウンド需要の拡大を受けて、波及効果が顕在化。中国・アジア新興国を中心に、設備投資が減速するなか、主力の資本財輸出が低調に推移する一方、非耐久消費財を中心とした、訪日外国人の購入率が高い「インバウンド関連品目」の輸出は、大きく増加。帰国後に、訪日客が母国で日本製品の「リピーター」となっていることを示唆。

もともと、世界的な景気減速などから、世界全体の貿易量は伸び悩み。先行き、英国のEU離脱や、円高の下押し影響が顕在化してくることも踏まえれば、財輸出の持ち直しペースは緩慢にとどまる見通し。

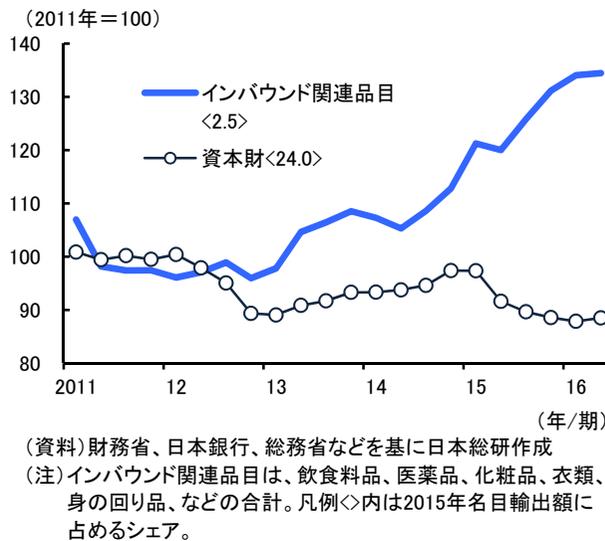
### 訪日外国人旅行消費額と実質実効為替レート



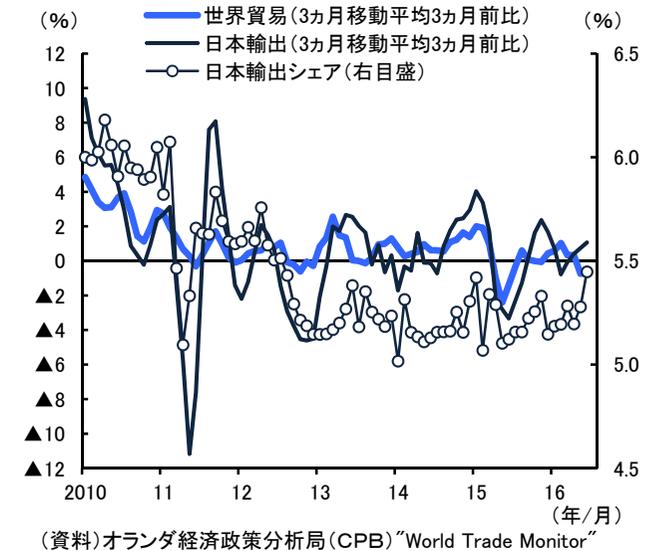
### 訪日中国人の費目別購入金額・購入率



### インバウンド関連品目と資本財の実質輸出



### 世界貿易数量と日本実質輸出(季調値)



# 維持・更新投資を中心に設備投資は緩やかな持ち直し

## ◆売上高は円高などにより伸び悩むも、収益環境には底堅さ

企業部門についてみると、4～6月期の法人企業統計では、内外需の低迷や円高を背景に、売上高は6四半期連続の前期比減収。一方、経常利益は、人件費の伸び抑制や、円高による輸入原材料価格の下落を受けた変動費の抑制などを背景に、4四半期ぶりの増益。依然脆弱な内外需や円高などを背景に、売上高は伸びにくい状況が続くものの、企業の経営体質は良好さを維持しており、企業収益がこの先大きく腰折れする事態は回避される見込み。

## ◆人手不足、設備の老朽化などから、雇用所得・設備投資の腰折れは回避

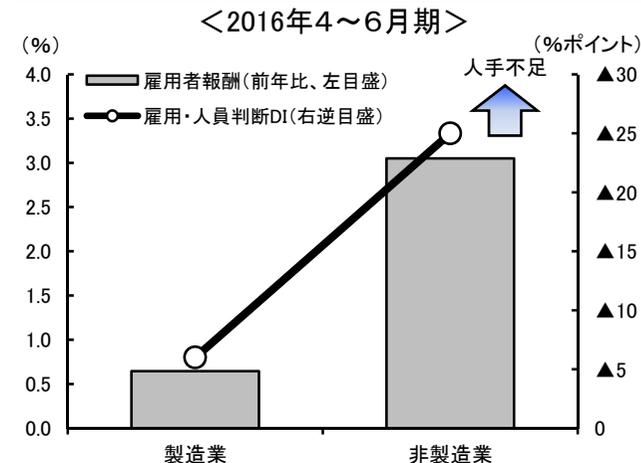
企業にとって、人手不足感は依然として強く、非製造業を中心に雇用所得環境の改善が続く見込み。

設備投資については、収益の頭打ちに伴い、企業の成長期待が高まらないなか、能力増強投資は伸び悩む見込み。もっとも、設備の老朽化などを背景に、維持・更新投資を進める企業は多く、これが下支えとして作用。加えて、人手不足に伴う合理化・省力化投資、既往のインバウンド需要拡大を受けた関連産業の設備投資もプラスに作用。こうした需要が下支えすることで、設備投資の腰折れは回避される見通し。

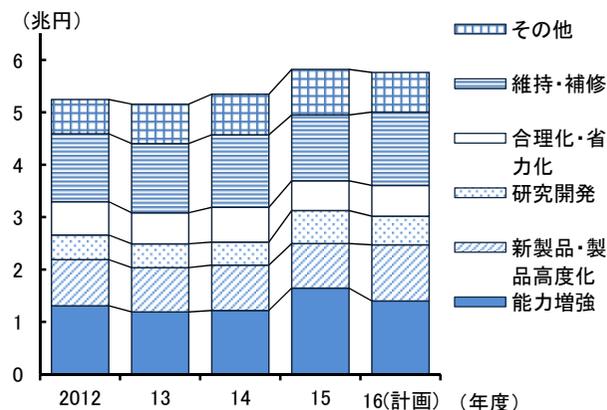
### 法人企業の売上高と経常利益率(季調値)



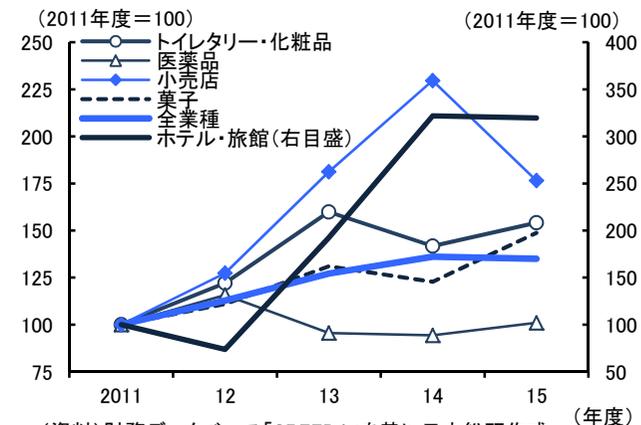
### 雇用者報酬増加率と人手不足感



### 大企業製造業の目的別設備投資額



### インバウンド関連産業の設備投資



# 可処分所得の伸び悩みに加え若年層の将来不安も消費を抑制

現状

景気分析

見通し

## ◆耐久財消費の低迷に加え、可処分所得の伸び悩みと将来不安が消費を抑制

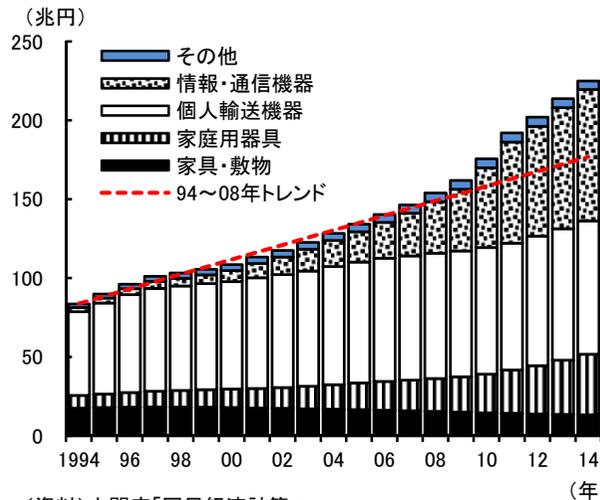
個人消費は、低迷が長期化。雇用情勢の改善が続き、賃金も小幅ながらプラス基調を維持しているほか、エネルギー価格の下落もあって、家計の購買力は改善。もっとも、近年の購入支援策や消費増税前の駆け込み需要により、耐久消費財のストックが上振れる状況が持続。この高水準のストックを背景とする買い控えが耐久財消費の低迷を招来。また、昨夏以降の株価の伸び悩みにより、足許では逆資産効果が消費を下押し。

こうした循環的・一時的要因に加え、税・社会保険料等の非消費支出の増加に伴う可処分所得の伸び悩みが構造要因として消費抑制に作用。将来の負担増に対する防衛意識の高まりも個人消費を下押ししている可能性。とりわけ将来不安が強い若年層で、消費性向の低下傾向が鮮明に。

## ◆引き続き緩やかな消費回復

先行きを展望すると、人手不足を背景とする雇用所得環境の改善持続が、消費回復の支えとなる見込み。もっとも、耐久消費財の需要先食いの反動解消には時間を要するとみられるほか、社会保険料負担の増加傾向などを反映した可処分所得の伸び悩みが、今後も消費下押しに作用するなか、個人消費は引き続き緩やかな増加ペースにとどまる見込み。

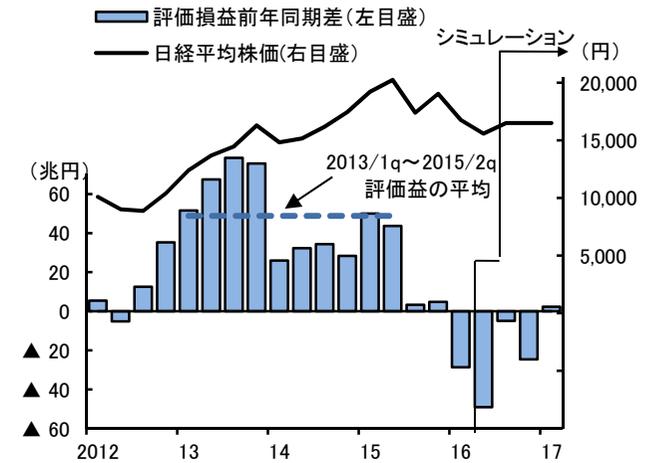
### 家計の主要耐久財実質残高



(資料)内閣府「国民経済計算」

(注)2005年価格基準。

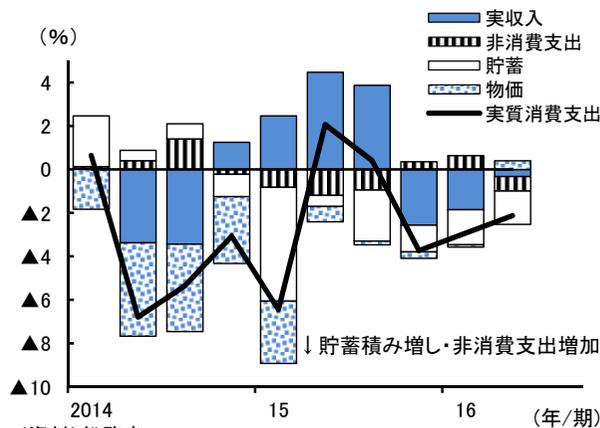
### 株価と家計部門の株式評価益(前年差)



(資料)日本銀行、日経NEEDSを基に日本総研作成

(注)2016年9月末以降は、株価が16,500円で推移する想定のリシミュレーション。

### 勤労者世帯の実質消費支出(前年比)



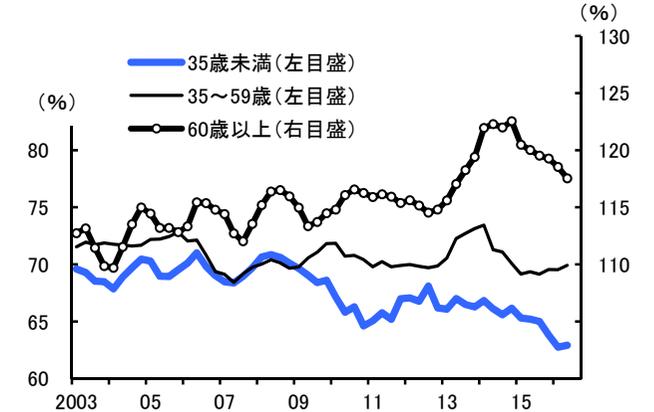
(資料)総務省

(注1)物価は、CPI(持家の帰属家賃を除く総合)。

(注2)二人以上世帯の季節調整値。

(注3)可処分所得=実収入-非消費支出。

### 世帯主年齢階層別の消費性向(総世帯)



(資料)総務省「家計調査」(総世帯)

(注1)勤労者世帯。60歳以上は二人以上の無職世帯と勤労者世帯の加重平均。

(注2)後方4期移動平均。

# 経済対策による景気押し上げ効果は0.9%ポイント

## ◆事業規模28兆円超の経済対策

政府は、8月2日に事業規模28兆円超の経済対策を閣議決定。景気押し上げに直接寄与すると考えられる国・地方の財政支出をみると、「21世紀型のインフラ整備」や「熊本地震・東日本大震災の復興、防災強化」などの金額が大きいことから、公共投資の増加が景気を押し上げる見込み。2017年度以降の本予算に計上される事業も含む形で対策の規模が膨らんでいることなどを勘案すると、成長率の押し上げ効果は、2016年度が+0.2%ポイント、17年度が+0.5%ポイントと試算。2年合計で実質GDPを0.9%ポイント押し上げ。

## ◆景気押し上げ効果には不透明な面も

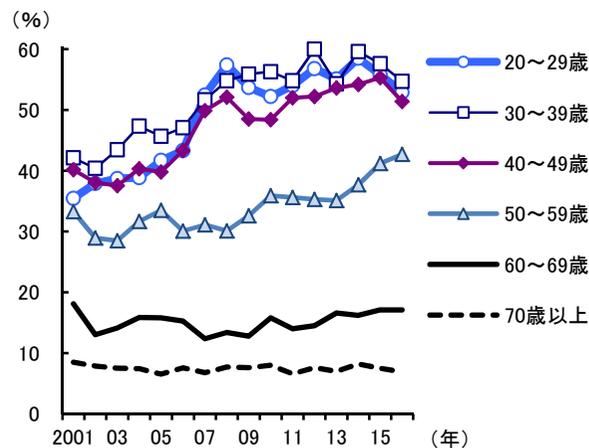
もっとも、今回の経済対策による景気押し上げ効果が想定通りに顕在化するか不透明な面も。まず、対策に含まれる家計支援策については、将来不安の強まりが個人消費の下押しに作用するなか、消費押し上げ効果は限定的となる可能性。一方、ウェイトの大きい公共事業についても、建設労働者の不足感を一段と強めることで、労務費の上昇を招けば、都心部の再開発や東京五輪関連の宿泊施設の整備といった民間の投資案件を下押しする懸念。

### 8月2日に閣議決定された経済対策の概要

一億総活躍社会の実現の加速(事業規模:3.5兆円)	
保育・介護の受け皿整備、保育・介護士の処遇改善 雇用保険料の時限的な引き下げ 簡素な給付措置(低所得者向けの現金給付)	うち国・地方の 財政支出 (2.5兆円)
21世紀型のインフラ整備(事業規模:10.7兆円)	
観光インフラの整備(港湾や空港機能の強化) 農林水産物の輸出基地・輸出対応型施設の整備 リニア中央新幹線・整備新幹線の整備加速	うち国・地方の 財政支出 (1.7兆円)
英国のEU離脱に伴うリスクへの対応(事業規模:10.9兆円)	
中小企業・小規模事業者の資金繰り支援 地方創世推進交付金の創設	うち国・地方の 財政支出 (0.6兆円)
熊本地震・東日本大震災の復興、防災強化 (事業規模:3.0兆円)	
熊本地震・東日本大震災からの復旧・復興 公共インフラなどの耐震化・老朽化対策	うち国・地方の 財政支出 (2.7兆円)

(資料)内閣府を基に日本総研作成

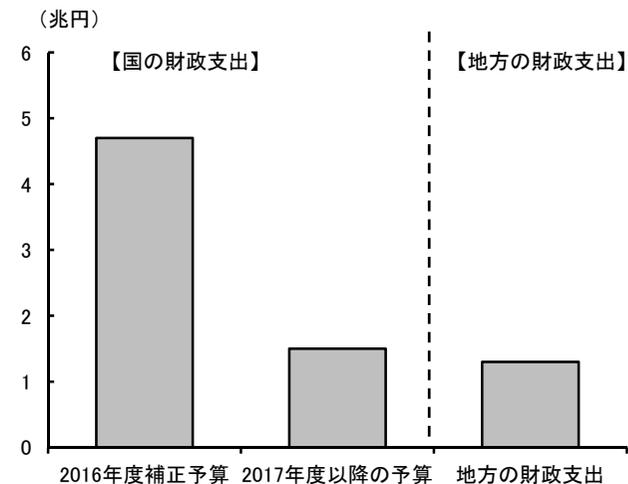
### 今後の生活の力点として「貯蓄や投資など将来に備える」と答えた割合



(資料)内閣府「国民生活に関する世論調査」

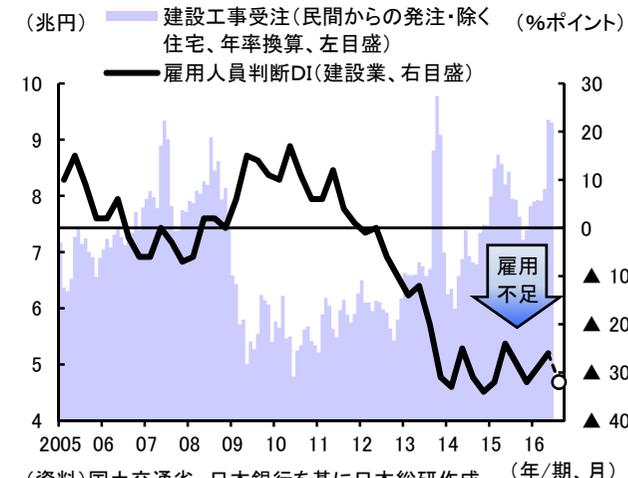
(注)2016年の20~29歳は、18~29歳に調査対象が変更。

### 経済対策における国・地方の財政支出の内訳



(資料)内閣府を基に日本総研作成

### 建設業の人手不足と民間からの建設工事受注



(資料)国土交通省、日本銀行を基に日本総研作成

(注1)雇用人員判断DIの直近は、2016年6月調査の先行き。

(注2)建設工事受注は、後方3ヵ月移動平均。

# 官公需の下支えのもと、緩やかな景気回復基調が続く公算

## ◆年率1%前後のプラス成長に

当面は、円高進行を受けた企業収益の下振れや、在庫調整圧力の残存が景気下押しに作用。もっとも、①2015年度補正予算や震災復興関連の16年度補正予算の執行を受けた公共投資の持ち直し、②設備の老朽化などを背景に収益動向に左右されず更新投資を進める企業の増加、③人手不足などを背景とした雇用所得環境の改善、などが景気下支えに作用するなか、緩やかな景気持ち直しが続く見込み。

2017年入り後も、8月に閣議決定された経済対策に伴う公共投資の増加などを背景に、景気回復基調が続く見込み。もっとも、税・社会負担の増加や、若年層を中心とした将来不安の強まりなどが消費下押しに作用することから、景気回復ペースは緩やかにとどまる見通し。

## わが国主要経済指標の予測値(2016年9月1日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2016年				2017年				2018年	2015年度	2016年度	2017年度
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	(実績)	(予測)	(実績)
	(実績)				(予測)					(実績)		
実質GDP	2.0	0.2	1.0	0.7	1.0	1.1	1.0	0.8	0.7	0.8	0.7	0.9
個人消費	2.8	0.6	0.7	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.4	▲0.2	0.6	0.5
住宅投資	▲0.5	21.3	5.6	▲0.3	▲4.2	▲3.4	▲1.9	0.4	0.7	2.4	5.7	▲1.6
設備投資	▲2.7	▲1.5	1.6	1.9	2.2	2.3	2.1	2.0	2.1	2.1	0.5	2.1
在庫投資 (寄与度)	(▲0.4)	(▲0.1)	(▲0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(▲0.2)	(▲0.0)
政府消費	3.6	0.9	0.5	0.8	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	1.6	1.6	0.9
公共投資	0.4	9.5	7.2	▲1.0	10.1	11.2	7.1	▲0.9	▲2.8	▲2.7	2.5	5.8
純輸出 (寄与度)	(0.5)	(▲1.0)	(▲0.0)	(0.0)	(▲0.2)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.0)	(0.0)	(0.1)	(▲0.1)	(▲0.1)
輸出	0.4	▲5.9	3.9	3.0	2.1	2.3	2.4	2.6	2.7	0.4	▲0.1	2.5
輸入	▲2.1	▲0.3	4.1	2.9	3.1	3.2	2.9	2.6	2.5	▲0.0	0.6	3.0

(前年比、%)

名目GDP	1.1	1.3	1.0	1.5	1.0	1.0	1.1	1.2	1.4	2.2	1.2	1.2
GDPデフレーター	0.9	0.8	0.6	0.6	0.2	0.1	0.2	0.3	0.4	1.4	0.5	0.2
消費者物価 (除く生鮮)	▲0.1	▲0.4	▲0.5	0.0	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.0	▲0.2	0.8
鉱工業生産	▲1.6	▲1.8	▲0.7	1.9	4.4	3.9	2.2	2.1	1.9	▲1.0	1.0	2.5

完全失業率 (%)	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.3	3.1	3.1
経常収支 (兆円)	5.96	4.75	5.64	3.38	4.99	3.02	4.40	2.39	4.19	18.00	18.76	14.00
対名目GDP比 (%)	4.8	3.8	4.6	2.6	4.0	2.4	3.5	1.8	3.3	3.6	3.7	2.7
円ドル相場 (円/ドル)	115	108	102	99	99	100	100	101	101	120	102	101
原油輸入価格 (ドル/バレル)	34	42	47	48	51	54	57	59	61	49	47	58

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

(注)2016年9月1日弊社公表の2016年4~6月期2次QE予測は反映せず。

## 海外経済の前提

	(前年比、%)		
	2015年 (実績)	2016年 (予測)	2017年
米国	2.6	1.4	2.2
ユーロ圏	1.6	1.5	1.1
中国	6.9	6.6	6.5

## 過去の実質GDP予測値

	(前年比、%)		
	2015年度 (実績)	2016年度 (予測)	2017年度
6月号	0.8	0.9	▲0.5
7月号	0.8	0.4	0.5
8月号	0.8	0.4	0.5

# 物価は当面小幅下落、長期金利はマイナス圏での推移が持続

## ◆物価は原油安の影響はく落の一方、身近な商品の価格の伸び鈍化が重石に

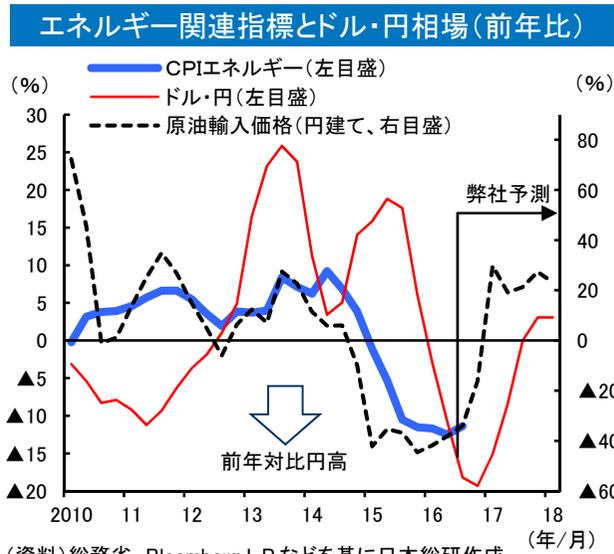
コアCPIは、原油安に伴うエネルギー価格の下振れを主因に、小幅下落が持続。もっとも、今後は原油価格の前年比下落幅が縮小に向かうことから、物価も徐々に下落局面を脱する見通し。ただし、円高が輸入物価の下押しを通じて重石となるほか、購入頻度が高い身近な商品の価格の伸び鈍化が、家計のインフレ期待低下に作用することから、その後も上昇ペースは緩やかなものとどまる見込み。

## ◆日銀は、次回会合で柔軟な金融政策の運営方針を示す公算

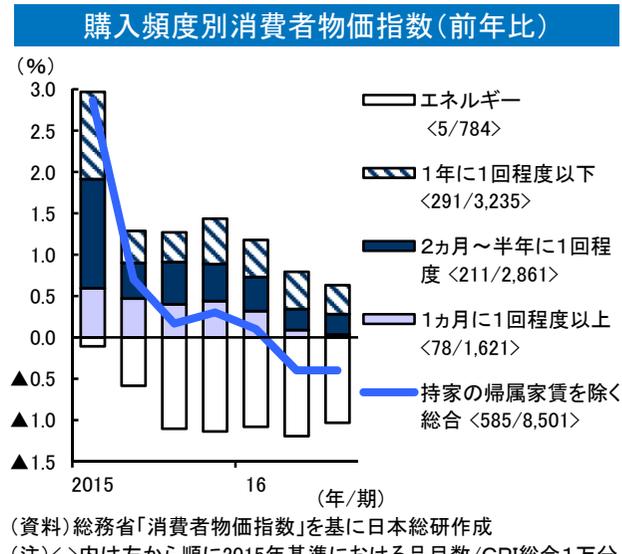
日銀は、7月の金融政策決定会合で、ETFの買い入れを拡大する追加金融緩和を決定。一方で、黒田総裁は次回9月の会合でこれまでの金融政策についての総括的な検証の実施を表明。物価目標の達成時期見直しや、幅を持たせた国債の買い入れなど、柔軟な金融政策の運営方針を示す可能性。

## ◆長期金利は日銀の中長期債買い入れが抑制に作用

長期金利は、日銀のマイナス金利政策などを受け、マイナス圏で推移。先行きを展望すると、米国金利の上昇などが金利押し上げ要因になるとみられるものの、内外景気に不透明感が残っているほか、日銀による中長期債の買い入れが需給面から金利抑制に作用。当面はマイナス圏での推移が持続見通し。

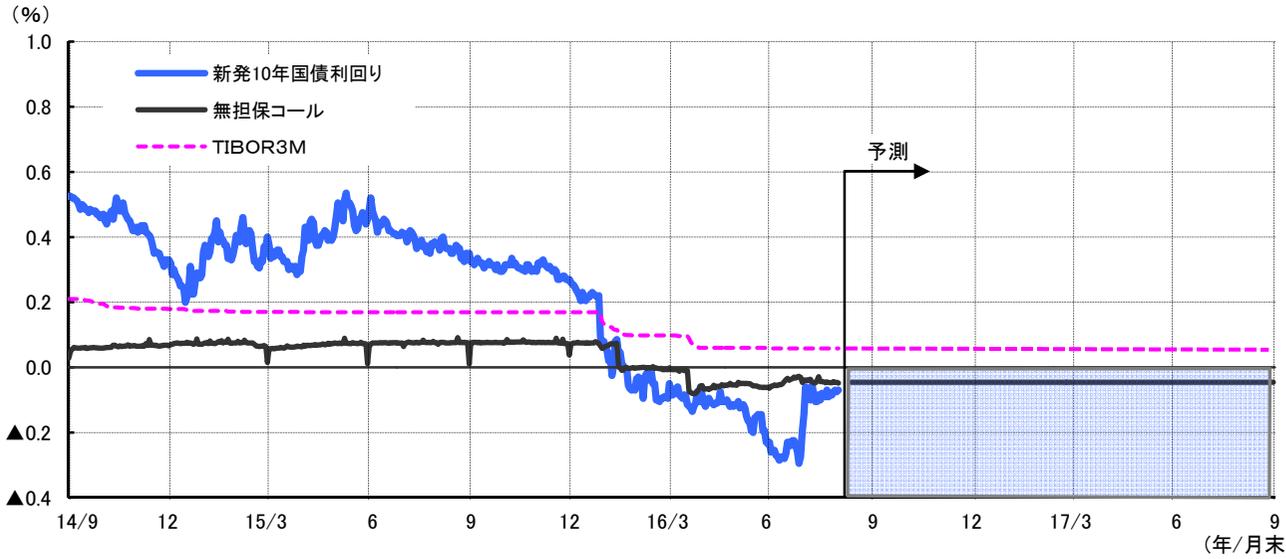


(資料)総務省、Bloomberg L.P.などを基に日本総研作成  
(注)CPIエネルギーの直近は2016年7月実績値。



(資料)総務省「消費者物価指数」を基に日本総研作成  
(注)<>内は左から順に2015年基準における品目数/CPI総合1万分比ウェイト。直近は2016年7月実績値。

## わが国主要金利の見通し



# 内外市場データ (月中平均)

	短期金利			ユーロ円 (TIBOR)			円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)			
13/1	0.10	0.30	0.40	0.21	0.30	0.80	0.09	0.78	1.48	1.20	89.10	118.53	10750.85	901.20	0.14	0.30	1.88	13615.32	0.21	1.56			
13/2	0.10	0.28	0.38	0.21	0.29	0.79	0.04	0.75	1.48	1.16	93.13	124.24	11336.44	961.02	0.15	0.29	1.97	13967.33	0.22	1.60			
13/3	0.09	0.25	0.35	0.22	0.28	0.72	0.05	0.61	1.48	1.15	94.87	122.92	12244.03	1028.55	0.14	0.28	1.94	14418.26	0.21	1.41			
13/5	0.09	0.23	0.33	0.27	0.48	0.92	0.13	0.77	1.48	1.24	100.99	131.05	14532.41	1203.38	0.11	0.27	1.92	15172.18	0.20	1.37			
13/6	0.09	0.23	0.33	0.27	0.50	1.01	0.13	0.85	1.48	1.29	97.29	128.40	13106.62	1089.48	0.09	0.27	2.29	15035.75	0.21	1.62			
13/7	0.08	0.23	0.33	0.27	0.48	1.01	0.13	0.83	1.48	1.33	99.64	130.47	14317.54	1186.91	0.09	0.27	2.56	15390.21	0.22	1.63			
13/8	0.09	0.23	0.33	0.26	0.43	0.95	0.11	0.76	1.48	1.31	97.80	130.25	13726.66	1145.42	0.08	0.26	2.73	15195.35	0.23	1.80			
13/9	0.09	0.23	0.33	0.26	0.42	0.91	0.11	0.72	1.48	1.30	99.19	132.53	14372.12	1185.18	0.08	0.25	2.80	15269.84	0.22	1.93			
13/10	0.08	0.22	0.32	0.22	0.36	0.79	0.10	0.64	1.48	1.23	97.83	133.43	14329.02	1188.51	0.09	0.24	2.60	15289.29	0.23	1.81			
13/11	0.09	0.22	0.32	0.21	0.35	0.78	0.10	0.61	1.48	1.20	100.11	135.13	14931.74	1222.90	0.08	0.24	2.71	15870.83	0.22	1.72			
13/12	0.09	0.22	0.32	0.20	0.37	0.86	0.09	0.68	1.48	1.20	103.60	141.96	15655.23	1254.45	0.09	0.24	2.89	16095.77	0.27	1.85			
14/1	0.09	0.22	0.32	0.21	0.36	0.87	0.09	0.68	1.48	1.24	103.88	141.51	15578.28	1275.17	0.07	0.24	2.85	16243.72	0.29	1.80			
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66			
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59			
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53			
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40			
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35			
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20			
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02			
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00			
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88			
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79			
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.11	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64			
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45			
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.13	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35			
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26			
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16			
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58			
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83			
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76			
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67			
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.11	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68			
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55			
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55			
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60			
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51			
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23			
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.96	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22			
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18			
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16			
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01			
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09			
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.39	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07			